

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

このメールマガジンは、スポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて配信しています。

スポーツ振興くじ (toto) 助成金についてはこちらから
(日本スポーツ振興センター HP) <http://www.jpnsport.go.jp/>

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

現在の登録件数：4,619件



スポーツ振興くじ助成事業

INDEX

❖ 〈特集〉 将来を見据えた、計画性のあるクラブ運営

- ▶ [A-life なんかん \(熊本県南関町\)](#)
- ▶ [かみのやまスポーツクラブ \(山形県上山市\)](#)
- ▶ [菊川スポーツクラブ \(山口県下関市\)](#)

❖ 〈連載〉 東日本大震災被災地 応援情報

[稲穂ファミリースポーツクラブの取組](#)

❖ 〈連載〉 わがクラブの人気プログラム

[伊勢崎エコ・マラニック \(伊勢崎西部スポーツクラブ\)](#)

❖ 助成金情報

[申込締切 5月15日までのもの](#)

❖ お知らせ

- ▶ [労力半分、効果は2倍! あなたにもできる「クラブのらくらく広報」ガイドブックを作成しました!](#)
- ▶ [クラブマネジメント指導者海外研修事業報告書 \(平成24年度\) を作成しました!](#)
- ▶ [「公認クラブマネジャー養成講習会」のご案内 \(申込締切5月13日\)](#)
- ▶ [スポーツ指導における暴力根絶に向けた日本体育協会の取り組み](#)
- ▶ [2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします!](#)
- ▶ [あくしゅ、あいさつ、ありがとう ～フェアプレイで日本を元気に!～ キャンペーン](#)

将来を見据えた、計画性のあるクラブ運営

[NPO 法人 A-life なんかん]

1 クラブと町体育協会が合併し、NPO 法人化!

「NPO 法人 A-life なんかん (以下、クラブ)」は、平成 17 年 1 月に設立した「南関すこやかスポーツクラブ」と、「南関町体育協会」が合併し、平成 24 年 7 月 25 日に設立しました。文化、スポーツ活動を通じて、住民の健康・体力の維持増進、地域社会の連携と明るく豊かな生活を実現するため、また子どもから大人までの競技力向上を目指すため、スポーツ環境のより一層しっかりとした基盤をつくり、スポーツにおける好循環を生み出す活動を展開しています。

クラブでは現在、28 の定期種目 (教室) があり、なかでも中高年者が中心の山登り教室、小学生対象の夏場のスイムレッスン教室、芦原空手教室が人気です。町内の小・中学校体育館など 13 か所の体育施設で活動しています。

山登り教室



スイムレッスン教室



タグラグビー



2 スポーツ振興くじ (toto) 助成金の活用とクラブ基盤強化への取組

クラブの前身である「南関すこやかスポーツクラブ」は、スポーツを通じて、仲間と共に健康で生きがいに満ちた豊かな生活の実現と、将来を担う健康でたくましい子どもたちの育成を図ることを目的に、平成 17 年から活動を始めました。設立当初は会費と町からの補助金を合わせ 449 万円からスタートしましたが、設立 4 年目 (平成 20 年) にクラブの財源をより安定させるには、クラブの周知と人気種目 (教室) を増やすことが必要であったため、toto 助成金を活用することにしました。toto 助成期間中にはクラブとして以下の活動を行いました。

● toto 助成 1 年目 [総合型地域スポーツクラブ活動支援事業] (平成 20 年度)

クラブを広く周知するためのイベント「スポーツフェスティバル」を開催し、著名な選手を招いてバレーボール教室の開催。

● toto 助成 2 年目 [総合型地域スポーツクラブ活動支援事業] (平成 21 年度)

クラブマネジャー 2 名の常勤配置。外部講師を招いてコアダンス、ヨガなどを特別教室 (月謝制) として開講。

● toto 助成 3 年目 [総合型地域スポーツクラブ自立支援事業] (平成 22 年度)

「スポーツフェスティバル」の定例開催。さらに、スポーツ活動だけでは、安定財源を確保することは難しいと考え、南関町から運動未実施者に対する福祉事業の受託。

● toto 助成 4 年目 [総合型地域スポーツクラブ自立支援事業] (平成 23 年度)

福祉事業に続き、南関町の介護予防事業の委託を受けるため、既存の受託業者に交じってプレゼンテーションを行い、クラブの目指す理念や方向性を評価していただき、平成 23 年度から介護予防事業 (一次予防、二次予防など) を受託。

● toto 助成 5 年目 [総合型地域スポーツクラブ自立支援事業] (平成 24 年度)

町体育協会と合併し、NPO 法人格を取得。定期種目 (教室) 活動においても、熊本県大会、全国大会へと出場する種目も増え、クラブで活動していた子どもの中から学校運動部活動で九州大会上位者を輩出するまでになりました。

3 平成 25 年度の財源について

toto 助成金を活用したクラブの周知により会員数も増加したことから、既に定期種目（教室）の指導者謝金と会場使用料は会費収入によって賄うことができています。また、これまで toto 助成金から支出していた外部講師を招いた特別教室については、toto 助成期間中に、受講者数も安定させることができたため、平成 25 年度から参加者数に応じた出来高制による契約の交渉ができています。クラブマネジャーの賃金については、平成 25 年度は総合型地域スポーツクラブマネジャー設置事業に申請しており、不足する分は町からの介護予防事業から支出を予定しています。

4 クラブに寄せられる期待と今後の展望

特にこの 2 年間で、地域の高齢者の体力面や精神面での充実について、住民からの声が多数寄せられています。現在、町内で何かしらの運動している人口は、介護予防事業を通して運動を実施している高齢者数と会員数を足すと、町人口の 10% (1,000 名) を超えています。

今後、さらに南関町のスポーツ振興を担う団体として成長するためにも、現状は加入率の低い中高年層や、人口比率の高い高齢者を取り込めるプログラム設定、また、少子化や教員の高齢化などにより成り立たない学校運動部活動もあるため、学校部活動との連携も課題です。

役員体制などの組織強化と自主財源の確保を確実なものにし、近隣の総合型地域スポーツクラブと連携した事業を行いながら、競技力向上・健康増進への取組を基本に好循環のスポーツ文化を生み、住民が協働で仲間と地域を創る機会をつくっていきたいと考えています。クラブのキャッチフレーズ「広がる未来、つながる地域」を、これからも着実に具現化させていきます。

介護予防健康体操



介護予防元気ツアー



5 他クラブへのアドバイス

財源確保には、会費の値上げも一つの手段ですが、クラブでは設立 3 年目（平成 19 年）に値上げをした際に会員数が減少した経緯があります。値上げを検討されているクラブは、助成最終年度ではなく前倒しで試行されることをお勧めします。

(NPO 法人 A-life なんかん 会長 原口 護)

クラブプロフィール

設立年月日：平成 24 年 7 月 25 日

前身体制「南関すこやかスポーツクラブ」は平成 17 年 1 月 23 日設立

地域：熊本県玉名郡南関町

人口：10,733 人（平成 25 年 3 月現在）高齢化率 32.8%（平成 23 年度）という高齢化が進んでいる町。

運営：会員数 672 名（平成 25 年 3 月現在） 予算規模 約 2,300 万円（平成 24 年度）

特徴：総合型地域スポーツクラブと町体育協会が合併して設立した団体。

専用の施設を持たず、町内の学校施設や体育施設で活動を展開する。

会員の構成はジュニア世代とシニア世代がそれぞれ 1/3 ずつを占める。

現在、町の介護予防事業を受託して、各地域で健康体操の指導を行っている。

連絡先：〒861-0803 熊本県玉名郡南関町大字関町 1324 番地 南関町公民館内

TEL：0968-57-9616 FAX：0968-57-9617

E-mail：info@a-life-npo.com

クラブ HP：<http://a-life-npo.com>

将来を見据えた、計画性のあるクラブ運営

【特定非営利活動法人かみのやまスポーツクラブ】

1 クラブの概要

「かみのやま総合型地域スポーツクラブ(以下、クラブ)」は、平成15年、クラブ設立に向けた検討を上山市より市体育協会に打診され、市民へのアンケート活動等を重ねた結果、平成17年に「かみのやま総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」を立ち上げました。日本体育協会の支援・指導のもと、2年間にわたり総合型地域スポーツクラブ設立に向けたプレ活動、参加者のニーズ調査を行い、平成19年4月8日に「かみのやま総合型地域スポーツクラブ」を設立しました。

本クラブは、「スポーツを実施していない市民へのスポーツ機会の提供」を主たる活動として考え、市内で活動しているスポーツ少年団、単一種目クラブとは活動が重複しないように心がけています。本クラブをスポーツ実施の入口としていただき、2~3年で、さらに専門的に活動されたい会員は、スポーツ少年団、単一種目クラブへ移籍できるようにプログラムを組んでいます。

本クラブの教室がそのままスポーツ少年団に発展した事例もあります。また、活動種目の開催日の7割を月曜日に集中して実施することにより、個人でも家族でも月曜日に拠点施設に出向いていただければスポーツを実践できるようにしています。「月曜日はスポーツクラブの日」とのぼりを掲げています。

総合型
スポーツクラブの日

2 目指すは「温泉旅館・ホテル」を活用したスポーツによるまちづくり

本クラブでは、クラブが地域に根付くためには、地元の資源を活用したスポーツによるまちづくりを目指すことが必要であると考え、温泉街である上山市の旅館やホテルを利用した「スポーツと温泉のコラボ事業・スポーツと温泉で身体も心もリフレッシュ」事業を始めました。この事業は、日中比較的空いている温泉旅館やホテルの大広間を利用して、ヨガ、ピラティス、エンジョイ吹矢教室を実施し、教室終了後は温泉入浴できるという内容です。また、会員だけでなく当日温泉に来ている観光客の方も参加できます。一般の体育館で行う教室とは違い、温泉旅館やホテルですので教室開催前にはまずはお茶を一服し、終了後は温泉入浴後に参加者が団欒できるのも特徴です。現在は、大変人気のプログラムとなり、参加募集当日または2日ほどで定員になります。温泉に入浴できることが参加者はもとより指導者にも喜ばれています。

しかしこの事業は、公共施設である体育館と違って民間施設を使用するため、会場使用料が若干高いという課題がありました。(使用料2時間20,000円)そのため、スポーツ振興くじ(toto)助成金を活用しました。平成20年度からの5年間の助成期間で、上山市にこの事業の取り組みが認められ、市の観光課から観光事業、温泉地の活性化という目的で支援を受けることができ、toto助成金が終了した平成25年度からも継続して実施する予定です。

また、温泉旅館やホテル側からも協力を得られています。これまで経費のかかっていた会場使用料の減免をしていただくだけでなく、旅館やホテルの従業員に教室のアシスタントとして入っていただいて、今年度から教室指導者として教室運営に関わっていただく



ヨガ教室



ピラティス教室



エンジョイ吹矢教室

ことになりました。(従業員の給与の中で対応いただけるのでクラブに指導者謝金の経費がかかりません)

事業開始当初は旅館やホテル側から「部屋が傷む」といった声や、会場使用料の交渉をした際「そんな安い値段では大広間は貸せない」と言われ、断られたりもしました。しかし、現在は別の旅館からもぜひ使用してほしいと声をいただいています。また、参加者からは「参加者が使用料を負担をしても開催してほしい」という意見もあり、続けてきてよかったと感じています。

この事業はtoto助成金がなければ、とても事業継続できるものではありませんでしたが、現在では本クラブの目玉教室であり、他クラブからの視察(開催旅館に宿泊してもらいます)も多く、自慢のプログラムです。クラブスタッフも「こんな人気教室をなくしてはいけない」という思いから、スタッフ一同アイデアを出しています。

3 今後の展望

現在クラブでは、上山市全域を対象としていますが、市内中心部の会員が多い現状です。そこで、市中心部以外の市民のために、市内4地区に本クラブの支部と支部拠点施設を構築し、本クラブが指導者派遣、教室の開催支援を行う予定です。また、基本とする種目を除いて、支部開催の種目があまり重複しないようにしてプログラム数の拡大を図ることによって市内全地区民が多くの人種目から選択できるスポーツ環境を整えていきたいと考えています。また少子化によりスポーツ少年団、小中学校の運動部活動から寄せられる要望にも応えていきたいと思ひます。

(特定非営利活動法人かみのやまスポーツクラブ クラブマネジャー 齋藤 武司)

クラブプロフィール

設立年月日：平成19年4月8日 かみのやま総合型地域スポーツクラブ

平成24年11月8日 NPO法人格取得 特定非営利活動法人かみのやまスポーツクラブ(名称変更)

地 域：山形県上山市

運 営：会員数 284名(平成25年2月現在) 予算規模 約1,100万円(平成24年度)

特 徴：会員増よりもスポーツ実施率を上げることを目的にし、家族揃ってスポーツを最低でも毎週月曜日は実施しようという目標で活動しています。

連 絡 先：〒999-3241 山形県上山市けやきの森2番1号

TEL：080-1809-0652 FAX：023-673-5588

E-Mail：info@kaminoyama-club.jp

クラブHP：<http://www.kaminoyama-club.jp/>

[INDEXへ▲](#)

将来を見据えた、計画性のあるクラブ運営

【菊川スポーツクラブ】

1 市町合併を機にクラブ設立！

「菊川スポーツクラブ(以下、クラブ)」は、平成17年2月に下関市と合併した菊川町のスポーツ環境を残そうと、5月に準備委員会を立ち上げ、スポーツ少年団を母体に設立されました。スポーツによる地域・健康・人づくりを目指し、平成19年4月より菊川地区の体育施設の指定管理を行いながら、14のジュニア団体活動と20のクラブ教室、20の年間イベント事業を行っています。平成24年度に指定管理施設内のプールが改装され、2歳～5歳までの体育教室はプールと体育館を並行して行う年間プログラムとなっています。

2 クラブの会費収入で運営できるクラブを目指して

クラブでは、教室運営による会費収入で運営できるクラブを目指してスポーツ振興くじ(toto)助成金を活用しました。5年間(平成20～24年度)のtoto助成金受託期間の間、常に考えていたことは、toto助成金は新規教室立ち上げに必要なスポーツ用具の購入に充て、クラブマネジャーの賃金などの人件費は最低限に抑えた方が良くということでした。またtoto助成金は限られた期間しか受けることができないことも意識して助成金を使ってきました。

クラブとして開設した最初の教室は、設立1年目(平成19年)にシニア層のスポーツ環境が整っていないことから始めた「シニア体力アップステーション事業」でした。この事業を皮切りとしてtoto助成1年目[総合型地域スポーツクラブ活動支援事業](平成20年度)には、同年に始まる下関海響マラソン完走プロジェクトとしてジョギング教室を開設し、toto助成2年目[同活動支援事業](平成21年度)には、ピラティスを開設して、全3教室に増やしました。

toto助成3年目[同自立支援事業](平成22年度)からは、toto助成金を受けている間にクラブの周知を図るために、比較的経費のかかるイベント事業を実施しようと考えました。全国第一線で戦っている選手に来ていただき指導交流会という事業として、子どもたちと一緒に野球、サッカー、バレーボールを行いました。同事業4年目(平成23年度)

は、会員から昼間も卓球をしたいとの声上がり、toto助成金で卓球台を3台購入し、卓球教室を開設しました。現在ではtoto助成金を通じて6台の卓球台を揃えることができ、開催日も週3回となったことから、多くの会員が満足しています。

同事業5年目(平成24年度)は、老朽化していたプールの改装が終わったため、プール教室を開催しました。それに伴う備品をtoto助成金で揃えることができ、大人の水中ウォーキングとアクアビクス、小学校低学年と高学年の水泳教室、2歳児から5歳児までの体育教室で、プールを使用しています。

以上、5年間のtoto助成期間の間に教室数は5～20に増えました。また、各教室にかかってくる指導者謝金については、各教室の会費収入に応じてお願いしており、会場も多くは指定管理施設での使用のため50%減免となります。さらには各教室での会費収入からクラブマネジャー賃金の一部を補えるほどになりました。

ジョギング教室



プール教室



3 今後の展望

平成25年度は、市の健康づくり事業に申し込みましたが、法人格をとっていない任意の団体であるため、受けることができませんでした。そのような事情もあり、平成25年度はクラブを一步前進させるために、クラブの法人化に力を入れていきます。法人形態をNPO法人、財団法人、社団法人のいずれにするのかは現在検討中ですが、平成25年度中に組織づくりをして、クラブにもっと力をつけたいと考えています。まずは会員数について地域人口の1割である800人を目指し、地域の健康づくりの核となり、行政と連携して事業を行い、若い人材を雇用できるようなクラブにしたいと思います。

(菊川スポーツクラブ クラブマネジャー 井上 登代子)

クラブプロフィール

設立年月日：平成18年10月1日

地 域：山口県下関市菊川町下関東部地域

運 営：会員数 602名(平成25年3月現在) 予算規模 約2,000万円(平成25年度)

特 徴：指定管理を受けながら、幼児～高齢者までの教室に力を入れている。

連 絡 先：〒750-0317 山口県下関市菊川町下岡枝61-1

下関市菊川運動公園内

TEL：083-287-2820 FAX：083-287-3000

E-Mail：kikukawa-sc@cyber.ne.jp

[INDEXへ▲](#)

稲穂ファミリースポーツクラブの取組

1 同じ東北人として、何かできることを

稲穂ファミリースポーツクラブでは、東日本大震災で家を流され、長期の避難所生活をしている人たちに、同じ東北人としてクラブ会員みんなが何か支援できることはないかと考え、以下の支援活動を行いました。



[第1回支援活動 平成23年5月14日(土)]

●石巻市立飯野川第一小学校避難所への炊き出し支援

避難所生活をしている方たちが、避難所生活が始まって1ヶ月間、温かいものを一回も食べていないという情報を聞き、片道4時間かけて総勢27名で避難所へ訪問し、洋食300食(焼きたての庄内豚ステーキ・とん汁・サラダ・オレンジ)の炊き出しをしました。

[第2回支援活動 平成23年6月18日(土)]

●石巻市勤労者余暇活用センター避難所及び周辺住民への炊き出し支援

稲穂市との総勢27名で、洋食300食(ビーフシチュー・鯛のグリル・蕎麦と麦きりの合盛・サクランボ)の炊き出しをしました。

[第3回支援活動 平成23年9月17日(土)]

●石巻市立湊小学校避難所への炊き出し支援

総勢24名で、洋食400食(焼きたての庄内豚ステーキ・蕎麦と麦きりの合盛・サラダ)の炊き出しをしました。

[第4回支援活動 平成24年8月26日(日)]

●宮城県南三陸町歌津地区平成の森公園仮設住宅団地主催の夏まつりイベントの盛り上げ支援 (ストレス解消とリフレッシュ)

総勢26名で、大きく4つの支援活動をしました。①グラウンド・ゴルフ交流大会、②出店による食べ物の提供(洋食300食：焼きたての庄内豚ステーキ・ビーフシチュー)、③シャンソン歌手による歌の提供、④子ども遊びコーナーの設置。



2 変化する求められる支援 ～炊き出しから交流へ～

第1～3回目は避難所への炊き出しが支援内容でしたが、地震から7ヶ月後の平成23年10月には避難所が閉鎖される地域も出て、被災した方々は仮設住宅に移りました。仮設住宅での生活は、プライバシーに配慮されているものの、狭さや周囲の音、精神的な不安など様々な課題から新たなストレスが生じていることを聞きました。クラブで何を支援できるのか、仮設住宅の下見をしながら悩みました。その結果、仮設住居者がストレス解消できる支援活動をと考えて、第4回目からは、体を動かしたり交流ができる支援活動を行いました。東日本大震災から2年経過した現在では、仮設住宅で生活されている方のストレス解消が今後の支援活動に求められる要素だと感じています。



3 継続した交流・支援に向けて

平成 25 年度は 8 月 31 日（土）、第 4 回目の支援活動と同様に、宮城県南三陸町歌津地区平成の森公園仮設住宅団地が主催する夏まつりイベントの開催支援（ストレス解消とリフレッシュ）を行います。今年のグラウンド・ゴルフ交流大会は野球場貸切で行うことになったので、さらなる交流ができることを期待しています。

また、南三陸町のサッカースポーツ少年団を夏休みにマイクロバスで迎えに行き、山形県鶴岡市に招いて、本クラブ内の稲穂サッカースポーツ少年団と 8 月 2 日（金）～ 4 日（日）に合同夏合宿を計画しています。

（稲穂ファミリースポーツクラブ クラブ・コーディネーター 村田 久忠）

クラブプロフィール

設立年月日：平成 18 年 1 月 29 日

地 域：山形県鶴岡市

運 営：会員数 家族会員 146 家族（平成 25 年 3 月現在）※会員設定は家族会員のみ
予算規模 225 万円（平成 24 年度）

特 徴：スポーツ少年団の育成母集団から総合型クラブに発展。

連 絡 先：〒372-0812 山形県鶴岡市宝町 4-73

TEL・FAX：0235-24-8758

[INDEXへ▲](#)

伊勢崎エコ・マラニック (伊勢崎西部スポーツクラブ)

概要

- 実施頻度：毎年4月第2日曜日
- 場 所：ラブリバー親水公園うぬき、西部公園、
広瀬川サイクリングロード、他
- 参加者数：リハーサル大会(平成22年)56名
第1回(平成23年)107名
第2回(平成24年)164名
第3回(平成25年)200名
- 参加者層：小学生～70歳代男女
- 参加費：18kmの部：2,000円
33kmの部/43kmの部：3,000円

●プログラムの特徴

「マラニック」とは、「マラソン」と「ピクニック」の造語です。競走ではなく、春の花咲くコースを参加者それぞれのペースで走り、時には歩き、ゴールを目指します。制限時間8時間という余裕のある時間設定も魅力です。コース途中で、渡し舟でショートカットするコースも設定してあります。地域のB級グルメの提供や、ゴール後には地元食材の提供、地域の企業によるマッサージサービスの提供など、地元色たっぷりのランニングイベントです。



笑顔を集めるエコ・マラニック

ランニングを始めた誰もが一度は夢見るのがフルマラソンの完走です。ところが、県内にフルマラソンの大会はありませんでした。そこでクラブでは、クラブの活動方針「もっと気軽にEnjoy



Sport!』のもと、フルマラソンにも気軽に挑戦できるようなコースを考え、地域資源である公園から立体交差のサイクリングロード(CR)を活用し、ほとんど車道と交差することのない約43kmコースを作りました。さらに毎年4月の第2週に開催することにし、菜の花の黄色、ハナダイコンの紫色で色づく桜並木からスタートできるコースとしました。

また、ピクニックの要素として、地域のB級グルメ「焼きまんじゅう」をCRに隣接する店で提供したり、33kmコースは利根川を渡し舟で渡ることができるコースとしました。この渡し舟は「コース途中で舟に乗れる」と最も人気の高いコースとなりました。

一工夫で「エコ」と「嬉しさ」を

大会運営面でも一工夫しました。競走ではない上にCR利用なので、43kmという距離の割に交通整理スタッフが少なく済みます。給水所にカップを置かず参加者各自で持参してもらうことで、ゴミの減量、給水スタッフの労力低減にもなり、約20名の本部スタッフで対応できています。さらに「エコ」をテーマとし、ゼッケンをとめる安全ピンも参加者持参を呼びかけたり、ゴール後の軽食をリユース食器で提供するなど、環境意識の啓発にも一役買っています。

また、自分達が受けて嬉しいサービスを提供するために、地域の団体や企業と連携しています。地元食材の消費拡大を推進する団体からトン汁の提供、地元の企業からマッサージの提供、参加賞として地元産ブランド米の提供などのご協力をいただき、低コストながら参加者には概ね好評で、毎回ゴール地点は笑顔で溢れています。

被災地の復興支援のために

記念すべき第1回大会の約1ヶ月前に東日本大震災が発生、全国のマラソン大会が中止となる中、クラブスタッフの誰からも中止の言葉は出ず、予定通りのサービス提供を心がけました。準備段階では、協力店から食材、水、燃料がなくなり、提供する給水・給食物、スタッフの移動燃料確保等、不安はありましたが、幸い開催直前には落ち着いて無事に開催することができ、当日は多くの笑顔に囲まれました。この経験、そして未だ復興途上にある被災地を忘れないために、第2回大会以降、参加費の10%を被災地に送金しています。

今後、被災地への継続した支援活動、伊勢崎の魅力の再発見、市外への発信を図るためにも、多くの団体や企業、そして行政と連携して、ランニングを核として多くの方で賑わい、地域の活力向上に貢献できるイベントになることを夢見ています。

(特定非営利活動法人伊勢崎西部スポーツクラブ 理事長 平林 和己)

クラブプロフィール

設立年月日：平成21年2月28日(任意団体)

平成24年12月20日(特定非営利活動法人)

地域：群馬県伊勢崎市西部地区(郊外型商業施設の進出に伴う宅地開発により、新たな世代が転入し人口が増加している地域)

運営：会員数 151名(平成25年3月現在) 予算規模 約760万円(平成24年度決算)

特徴：平坦、長い日照時間、市内を貫く河川、河川沿いに整備されるサイクリングロード、隣接する大規模公園など、地域資源を活用して、ランニング、ウォーキング、カヤックを中心に「スポーツの見えるまちづくり」を掲げて活動しています。

連絡先：〒372-0812 群馬県伊勢崎市連取町3038-2

TEL：0270-22-2338 FAX：0270-75-1006

E-Mail：fact@beige.plala.or.jp

クラブHP：<http://wind.ap.teacup.com/seibusports/>

[INDEXへ▲](#)

助成金情報

申込締切：5月15日までのもの

- ▶ 公益財団法人住友生命健康財団 「スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」 (5月15日必着)
<http://www.sumitomolife.co.jp/csr/kouken/kenkou/sport2013.html>

[INDEXへ▲](#)

お知らせ

●労力半分、効果は2倍!

あなたにもできる「クラブのらくらく広報」ガイドブックを作成しました!

総合型地域スポーツクラブを創ったけれど、なかなか会員が集まらない、チラシを配っても人が集まらない、地域でもあまり知られていないようだ・・・

しかし広報活動をするのは、忙しいし、人手が足りないし、技術もないし、難しそう・・・

そんなクラブの方のために効果的な広報を行うための広報のガイドブックを作成しました。

「労力は半分、効果は2倍上がる」広報の方法や事例を紹介しますので、どんどん活用してください。

- ▶ 「クラブのらくらく広報」ガイドブック

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/514/Default.aspx#05>

●クラブマネジメント指導者海外研修事業報告書(平成24年度)を作成しました!

平成24年度日本体育協会クラブマネジメント指導者海外研修事業の報告書が作成されました。

この事業は、toto助成事業として実施され、平成24年度で4回目となります。

15名の日本派遣団員が、平成24年10月16日～22日の間、ドイツを訪問し、地域スポーツクラブに関する講義・視察による研修を行いました。

- ▶ クラブマネジメント指導者海外研修事業

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/840/Default.aspx>

●クラブ運営などのノウハウを学習できる日本体育協会主催

「公認クラブマネジャー養成講習会」のご案内(申込締切5月13日)

【養成講習会の開催について】

日本体育協会では、総合型地域スポーツクラブなどでクラブ運営を行う担当者を対象に、「公認クラブマネジャー」の養成講習会を開催します。

クラブマネジャーの養成講習会は、I期からIII期まで計9日間にわたり「マーケティング」や「財務」等クラブ運営に欠かせないさまざまな内容を学習します。

平成25年度は東京での開催となります。

講習会の形式は、講師から受講者への一方的な情報伝達ではなく、受講者同士のグループワークやディスカッションなど双方向的な内容が中心となります。

また、全国各地から受講者が集まる講習会はそれぞれのクラブ間の貴重な情報交換や交流の場となっています。

講習会終了後は、クラブの5年後を想定した事業計画書を作成・提出し、検定試験(事業計画のプレゼンテーション)に臨みます。

検定試験に合格し資格登録すると、晴れて本会公認クラブマネジャーとして認定されます。

【受講者の声】

◎クラブの作り方・運営

「10年後、20年後先を見ながら戦略を立てなければならないと思った」

◎マーケティング

「演習は楽しかった。数時間の中で町のたたずまいや住民の声が聞こえてくるような気がする程、私自身も住民の1人になっていたように思う」

◎経営戦略

発表をさせていただき、10分の短さ長さ、言葉の流れ、重なりなどドキドキしながら体験できたことで、もっとリハールが必要だということが分かってよかった。具体的な夢が話せて良かったです」

◎人・組織のマネジメント

「人との接し方についてグループワークでの他のメンバーの考え方やアプローチの仕方などとても参考になりました。」

◎スポーツクラブの安全管理

「今回の研修の中で一番心に残った講習であった。リスクをいかに予見するか、いわゆる危機予知能力を日々磨くことがいかに大切であるかを学べ、とても勉強になりました。」

◎財務

「一番苦手な分野でしたがあっという間に一日が過ぎて行きました。日頃は経理の方に会計は全て任せているので私自身勉強しなくてはと思いました。」

【受講のご案内】

受講の申込にあたっては、下記ウェブページをご参照ください。

また、ご不明点等ありましたら、日本体育協会スポーツ指導者育成部マネジメント資格担当(03-3481-2226)までご連絡ください。

なお、申込にあたっては所属クラブ代表者による推薦状が必要となり、受講申込後、本会での受講審査がありますので、予めご了承ください。

【その他】

都道府県体育(スポーツ)協会、広域スポーツセンター等において、クラブマネジャーをサポートする日本体育協会「公認アシスタントマネジャー」の養成も実施しております。

公認アシスタントマネジャー資格をお持ちの方は、公認クラブマネジャー受講にあたり共通科目と専門科目の一部が免除になります。

公認アシスタントマネジャーの養成を実施する具体的な団体等については、下記ウェブページ等にてご確認ください。

▶ 日本体育協会公認マネジメント資格関係HPはこちらから

クラブマネジャー：<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/221/Default.aspx>

アシスタントマネジャー：<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/221/Default.aspx>

●スポーツ指導における暴力根絶に向けた日本体育協会の取り組み

皆さんもご存じの通り、高校運動部活動における体罰問題や柔道ナショナルチームにおける暴力行為等、スポーツ指導現場における暴力行為やパワーハラスメント等が数多く報道されています。

日本体育協会では、今般の事態を真摯に受け止め、本会加盟団体をはじめとする皆さんと連携・協力して、スポーツ指導現場における暴力行為の根絶に努める所存であり、以下のとおり、メッセージを発信しました。

総合型クラブで活動されている皆さんにおかれましても、スポーツ指導現場における暴力行為等を根絶し、多くのスポーツ愛好者が「安全に、楽しく」スポーツに親しめるよう、ますますのご尽力をお願いします。

スポーツ指導における暴力根絶に向けた本会の取り組みについてはこちらから

- ▶ 「スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い」開催のお知らせ
 - 日時：平成25年4月25日(木) 12:45～
 - 会場：日本青年館(東京都新宿区)http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/20130425_tsudoi_youkou.pdf
- ▶ スポーツ指導現場に対する張会長メッセージ
<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2591>
- ▶ スポーツ指導現場における暴力根絶について～公認スポーツ指導者の皆様へのメッセージ
<http://www.japan-sports.or.jp/coach/news/tabid/81/Default.aspx?itemid=2586>
- ▶ 加盟(準加盟及び協力)団体へのスポーツ指導における暴力根絶への対応に関する通知について
<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2584>
- ▶ 「指導者のためのスポーツジャーナル」2009年冬号特集『さよなら、体罰』
<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/doc/sportsjournal2009winter.pdf>
- ▶ 公益財団法人日本体育協会及び加盟団体における倫理に関するガイドライン
<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/about/pdf/plan02.pdf>
- ▶ 去る2月5日に下村文部科学大臣から「スポーツ指導における暴力根絶へ向けて」が発信されました。
スポーツ指導における暴力根絶へ向けて ～文部科学大臣メッセージ～
http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/koho_kyanpen/news/20130207daizinmessage.pdf

●2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします!

東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会では、現在、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を東京で開催すべく、各所で招致活動を行っていることは皆様ご存じの通りです。

日本がひとつとなって、これまで以上に招致活動を盛り上げるために、皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。(twitter、facebook 等もご活用ください)

- ▶ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致委員会ホームページはこちらから
(貴クラブのホームページにリンクいただくなど、ご協力をお願いいたします)
<http://tokyo2020.jp/jp/index.php>

●あくしゅ、あいさつ、ありがとう ～フェアプレイで日本を元気に!～ キャンペーン

日本体育協会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていくこと、スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを実施中で、専用WEBサイトも公開しています。

本キャンペーンは、「フェアプレイで日本を元気に」を合言葉に「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」という具体的な行動を通じて、日本社会を元気にしていく取り組みで平成23年にスタートしました。「フェアプレイ宣言者」は10,000人を超え、現在約14,000人になりました!

これもひとえに皆様のご理解のおかげと深く感謝しています。2016年までにはフェアプレイ宣言者100万人を目指しています。まだフェアプレイ宣言をされていない方はぜひ専用WEBサイト上でフェアプレイ宣言をお願いします。

なお、フェアプレイ宣言を行っていただくと言書書のダウンロードができ、各種画像データをご自身のブログ等でもご利用いただけます。ぜひご利用ください。

日本体育協会は、これからも「フェアプレイ」を広げるためにキャンペーン活動を続けてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

▶ フェアプレイ宣言者 10,000 人を突破!

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2595>

▶ フェアプレイ宣言等、詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください!

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。

おかげさまで、現在約 4,600 の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。

個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を周りの方にお勧めください。

よろしく願いいたします。

【公式メールマガジン登録方法】

- 1) 日本体育協会 HP のトップページの中央にある「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2) 下段の「メールマガジン」をクリック
- 3) 「登録・退会」をクリック
- 4) 「登録する」をクリック
- 5) 登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6) 登録確認画面へ(完了)

▶ メールマガジンの登録(無料)はこちらから簡単にできます。周りの人にもぜひ登録をオススメください!

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx>

▶ メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

[INDEXへ▲](#)